

中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

平成25年に報告された全国のHIV感染者数は1,106件、AIDS患者数は、484件、両者を合わせた新規報告件数は1,590件であった。中国・四国ブロック内のHIV感染者数は55件、AIDS患者数は31件、両者を合わせた新規報告件数は86件であった（図1、図2）。

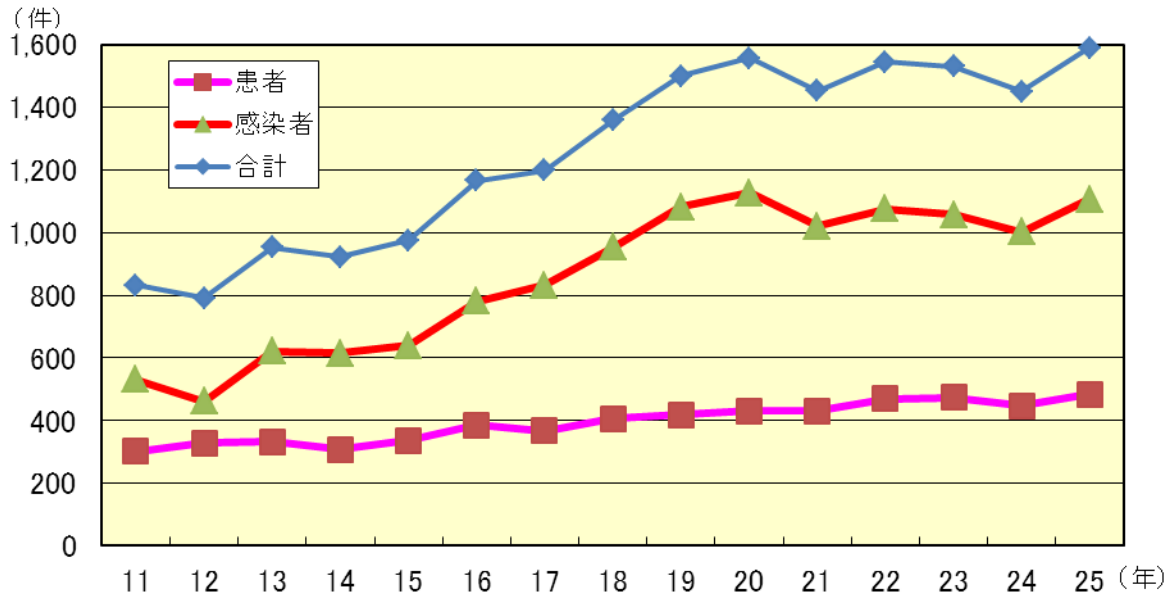


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

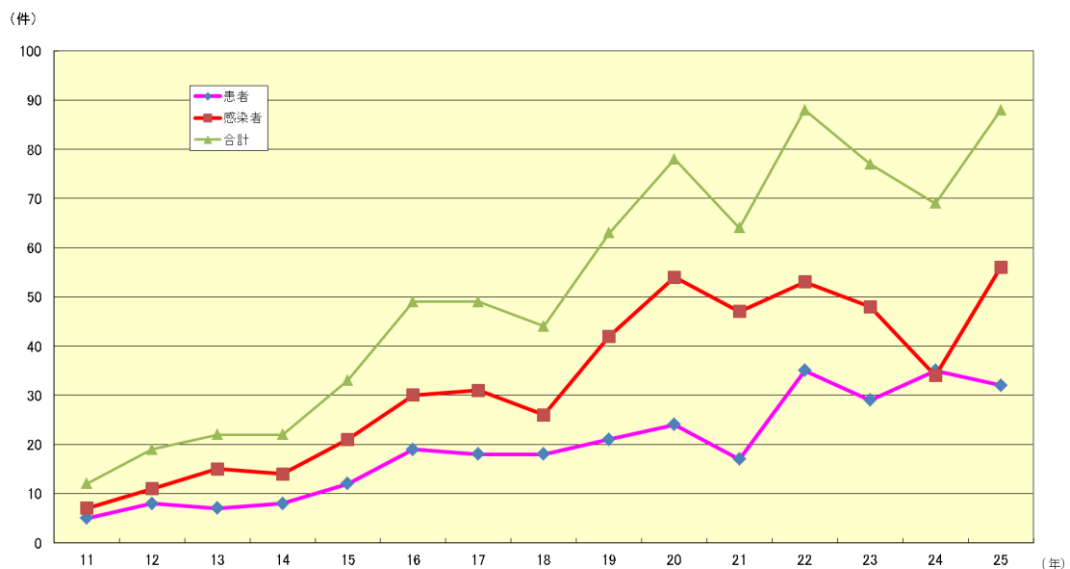


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(全国 H25 年報告)

(1) HIV感染者について

全国で平成 25 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 194 件(17.5%)、同性間の性的接触が 780 件(70.5%)で、性的接触によるものは合わせて 974 件(88.1%)を占めた(図 3)。また、母子感染は 1 件報告があった。

(2) AIDS患者について

全国で平成 25 年に報告された AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触による感染が 116 件(24.0%)、同性間の性的接触による感染が 273 件(56.4%)で、性的接触による感染は合わせて 389 件(80.4%)を占めた(図 4)。

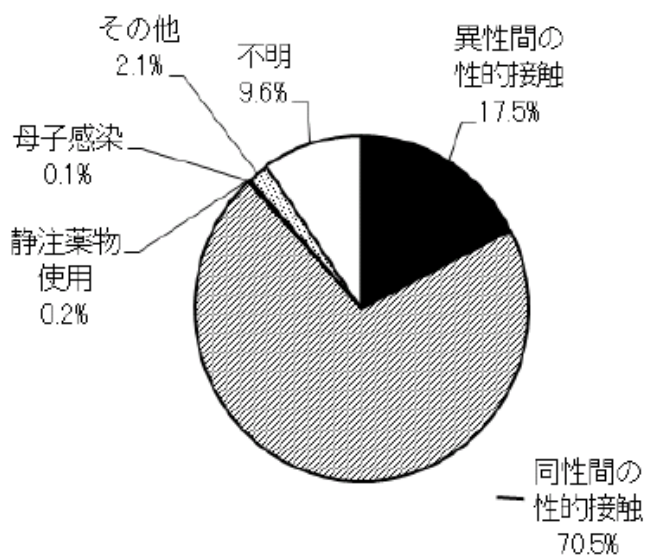


図 3 全国のHIV感染者の感染経路別内訳(平成 25 年全国報告例)

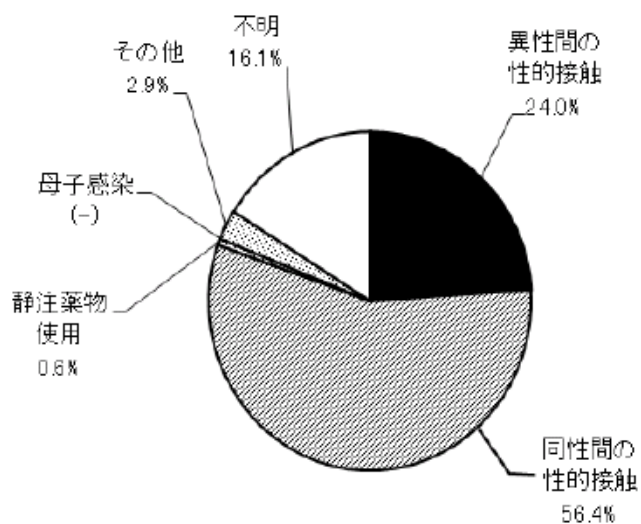


図 4 全国のAIDS患者の感染経路別内訳(平成 25 年全国報告例)

3 都道府県別報告数について

平成 25 年は、都道府県別 人口 10 万人あたりの報告数の上位 10 位の自治体に中国・四国ブロックでは、H I V感染者報告数では 5 位に香川県, 9 位に岡山県, 10 位に広島県, A I D S 患者報告数では 4 位に広島県が入っている。

中国・四国ブロックにおいても、診察における見逃し防止や行政の無料匿名検査による早期発見、行動変容を呼びかける普及啓発活動等の、総合的で継続的な HIV/AIDS 対策が継続して必要である。

HIV 感染者・AIDS 患者報告数上位 10 位の自治体

表 1 HIV 感染者上位自治体

自治体	報告数	自治体	人口 10 万人対
1 東京都	363	1 東京都	2.729
2 大阪府	172	2 大阪府	1.944
3 神奈川県	89	3 沖縄県	1.060
4 愛知県	65	4 神奈川県	0.980
5 福岡県	46	5 香川県	0.914
6 千葉県	42	6 福岡県	0.904
7 兵庫県	32	7 愛知県	0.873
8 埼玉県	30	8 佐賀県	0.833
9 北海道	23	9 岡山県	0.829
10 広島県	21	10 広島県	0.739

表 2 AIDS 患者上位自治体

自治体	報告数	自治体	人口 10 万人対
1 東京都	110	1 東京都	0.827
2 大阪府	54	2 大阪府	0.610
3 愛知県	33	3 沖縄県	0.565
4 千葉県	30	4 広島県	0.528
5 神奈川県	30	5 滋賀県	0.494
6 兵庫県	21	6 千葉県	0.484
7 静岡県	16	7 栃木県	0.453
8 福岡県	16	8 愛知県	0.443
9 広島県	15	9 岐阜県	0.439
10 北海道	14	10 石川県	0.431

なお、中国・四国ブロック各県の HIV 感染者・AIDS 患者の人口 10 万対の累積報告数は、表 3 のとおりである。

表 3 中国・四国ブロックの人口 10 万対の累積報告数

	HIV 感染者	AIDS 患者
全国	12.421	5.658
中国・四国ブロック	4.765	2.699
鳥取県	2.249	1.903
島根県	2.279	0.712
岡山県	5.389	3.264
広島県	6.620	3.204
山口県	3.732	1.197
徳島県	3.247	2.468
香川県	4.975	3.655
愛媛県	4.555	3.488
高知県	4.027	2.148

3 検査及び相談

平成 25 年の中国・四国ブロック内の自治体における HIV 抗体検査件数は、8,851 件、相談件数は 12,083 件とともに前年より減少している（図 5）。

このため、保健所等における HIV 抗体検査・相談を引き続き推進、周知する等の取り組みが必要である。

なお、平成 26 年第 1～2 四半期の前年同期との比較において、中国・四国ブロック全体では、相談件数は、H25 年 5,490 件から H26 年 6,019 件（表 1）、HIV 抗体検査件数は、H25 年 3,752 件から H26 年 4,590 件（表 2）とともに増加している。

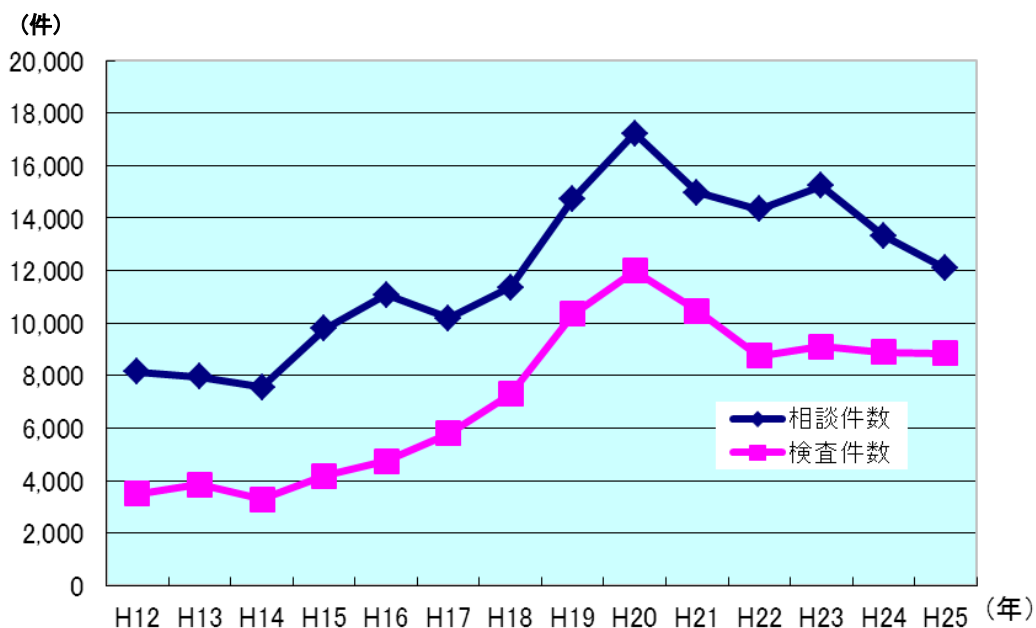


図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次

表 1 中国・四国ブロックの相談件数

表 2 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査件数

	H25第1～2四半期*	H26第1～2四半期*		H25第1～2四半期*	H26第1～2四半期*
鳥取県	19	11	鳥取県	253	349
島根県	183	259	島根県	142	236
岡山県	864	1,012	岡山県	518	624
広島県	2,532	2,676	広島県	1,123	1,235
山口県	424	422	山口県	455	539
徳島県	504	477	徳島県	377	418
香川県	339	248	香川県	175	219
愛媛県	556	844	愛媛県	490	652
高知県	69	70	高知県	219	318
計	5,490	6,019	計	3,752	4,590

*第1～2四半期とは、1月から6月のこと